

養鶏農場で発生した「高病原性鳥インフルエンザ」に対する 本県の対応について

1 国内における発生状況

- ・ 10月17日、北海道で1例目が発生
- ・ 11月 7日、香川県三豊市において発生（6例目）
- ・ 11月25日現在、9県11事例が発生

2 本県の対応状況

【10月17日 危機管理会議の開催】

- ・ 県内養鶏農場に対し「消毒の徹底」や「野生小動物の侵入防止対策」など飼養衛生管理の強化
- ・ 「消毒用消石灰」の配布（10月18日～11月4日）
※県内203農場に対する消毒用消石灰（6,500袋）の緊急配布
- ・ 家畜伝染病予防法に基づく、農場の「消毒命令」を発出

【11月 7日 危機管理会議の開催】

- ・ 香川県三豊市から本県への主要通行ルートである「国道32号」の県境付近「消毒ポイント」を設置
※11月8日午前9時開始～11月24日午前0時終了
設置期間中の車両消毒台数：276台

3 「危機管理調整費」「予備費」の活用

- ・ 「消毒用消石灰」の配布、補充に必要な経費について「危機管理調整費(6,300千円)」を活用
- ・ 「消毒ポイント」の設置、運営に必要な経費について「予備費(29,000千円)」を活用